

# 平成29年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

## 北九州市立 東朽網 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成29年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部分です。

### 1. 調査の目的

(1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子ども

の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

(2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

### 2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

### 3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

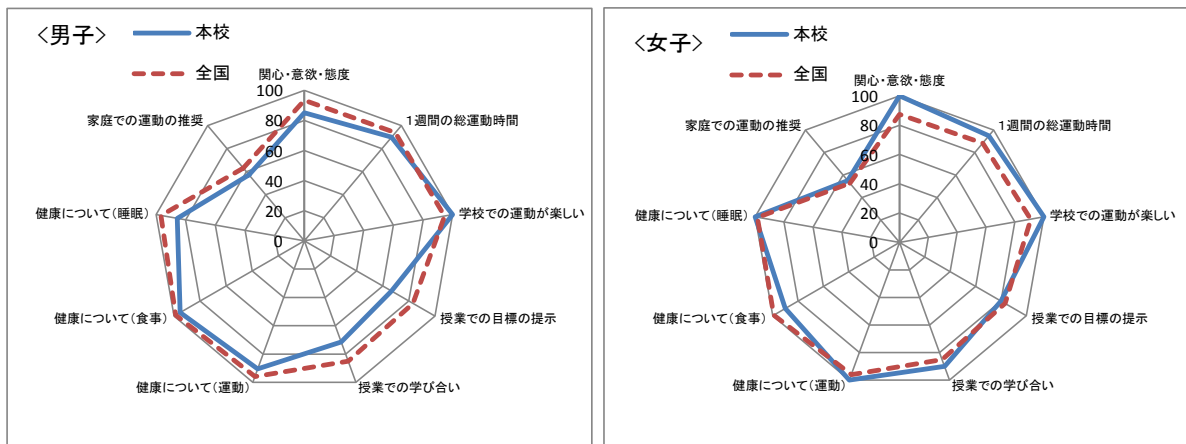
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.51	19.92	33.15	41.95	52.24	9.37	151.71	22.53	54.16
本市	16.67	20.32	33.09	40.91	52.67	9.38	152.51	24.17	54.37
全国平均以上の種目						○			

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.12	18.81	37.43	40.06	41.62	9.60	145.47	13.94	55.72
本市	16.47	19.16	37.19	39.55	42.13	9.62	145.98	14.41	55.96
全国平均以上の種目	○	○					○	○	○

### 4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



#### 質問紙調査の結果分析

「学校での運動が楽しい」と回答した児童は、男女とも全国平均を上回っていることから、多くの児童が体育科の学習を中心とした運動を、肯定的に取り組んでいることが分かる。昨年度当初に、「運動やスポーツが好き」と答える児童を増やすという目標を立て、東朽網っ子タイム（マラソンやなわとび運動）を毎朝行ったことで、運動に取り組む基盤がつくられ、そのことが授業への意欲につながっていると考えられる。しかし、授業での学び合いについて、男女の違いはあるが、課題が見られる。友達同士で見たり伝え合ったりする活動を設け、対話的で深い学び合いのある学習を目指す。

### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科（授業）に関する取組（全校で・学年で・学級で）

北九州市パワーアッププランを基に、授業改善を行う。特に、単元や一時間の目標を明確化したり、ワークシートへの記述や感想の発表を行うなど達成度をふり返ったりし、児童が目的意識をもったり自己の成長を実感したりしながら、主体的に取り組めるようにする。また、友達同士でお互いの成果や伸長を認め合いながら、賞賛し励まし合う態度の育成も目指す。

#### ② 運動習慣等に関する取組（1校1取組）

毎朝、5分間の体力づくりタイム（東朽網っ子タイム）を設定し、マラソンやなわとび等を全校で行うなど、運動を日常化する取組のより一層の充実を図す。また、中休みや昼休みは、外遊びをするよう奨励し、遊びを通して、体を動かすことに慣れ親しむことができるようにする。